

日本共産党・広次忠彦です。発言通告にそって、一問一答方式で質問します。

最初に、家庭ごみの有料化について質問します。この間、わが党は市民アンケートを実施してきました。そのなかで、家庭ごみ有料化についての設問に、賛成する意見もありますが、「高すぎる袋代の予定、結局増税に近い。1人暮らしは、レジ袋などで有効利用できる、考え直してほしい」「ごみくらい無料で処理するのが、行政として当然である。有料化など実に“セコい”発想、ほかに案はないのか」など、反対意見も多く寄せられています。

ごみ減量には、生ごみの水分削減や堆肥化、さらなるごみの分別、そもそも発生源での対策などが必要であり、有料化では解決できないと考えます。

そこで質問しますが、ごみ減量の推進、市民生活の実情を考慮するならば、「有料化」は中止すべきと考えますが、見解を求めます。(質問1)

市長のマニフェストでは、「地球環境保全の取り組み」のなかで「ごみ減量対策」として「ごみ減量の推進とごみ処理費負担の公平性を確保するため、『可燃ごみ』と『不燃ごみ』について指定ゴミ袋による有料化を実施します」と明記しています。ごみ減量をすすめるためには、分別のさらなる促進や、生ごみの堆肥化など、いろいろな方策があると思います。ところが市長は「有料化」しか言っていない。そこで質問しますが、「有料化」だけで、ごみ減量がすすむと考えているのでしょうか、見解を求めます。(質問2)

担当部局は、「有料化するかどうか」「有料化の場合、どういう方法か」などは、白紙で審議会に諮問されました。市長のマニフェストのとおり「有料化」

の方向にすすんでいるように思われます。担当部局の提案とマニフェストとは、どのような関係にあるのでしょうか、見解を求めます。(質問3)

つぎの質問に移ります。保育行政についてです。わさだタウン内にある株式会社学栄系列の「ちびっこランド」わさだ園が11月末で閉園となりました。保護者には10月22日に知らされています。しかし閉園するかどうかは5月ごろから検討されていたという情報もあります。8月に入園した子どもの保護者には、閉園を検討しているという情報は知らされていませんでした。ある保護者からは、「4歳の子どもが『私たちはどうなるの』と心配している。今回の事態が、子どもの気持ちの成長に影響しないか心配」と訴えられました。

この保育施設は、認可外であり、市の認可外保育施設への補助制度も利用していなかったようです。行政が認可外保育施設への指導には限界があることは承知していますが、こうした事態を繰り返さないようにすることが重要です。

そこで質問しますが、認可外保育施設への定期的な検査で、どのような指導をされているのでしょうか、見解を求めます。(質問4)

貸室や貸地などを使つての経営の場合、年度途中で契約が切れるような契約は改善するように指導すべきと考えますが、見解を求めます。(質問5)

つぎの質問に移ります。敷戸団地内のスーパーの閉店が、住民の生活に重大な影響をおよぼしています。「家の建て替えをするとき、いろいろ検討したが、郵便局、銀行、診療所、スーパーがある、この敷戸団地で建て替えることにした。スーパーはぜひきて欲しい」「行きはいいが、坂道を重たい荷物を持って帰るのはつらい」などの声が寄せられています。

どこに住んでいても、安心して暮らせる街づくりは、市政にとって重要な施策であると思います。

そこで質問しますが、スーパーの誘致をはじめ、「買い物弱者」が出ないような対策をすすめる考えはないでしょうか、見解を求めます。(質問6)

路線バスの充実やコミュニティバスの運行は、高齢者などの交通弱者の強い味方となります。岐阜市では、希望する地域で、地域が主体となった「運営協議会」で、ルートやダイヤなどの運行計画を作成し、コミュニティバスを運行しています。行政は、人口密度や高齢化率など、地域の特性に応じた基準や、基準収支率などを定め、透明性の高い基準にもとづいて補助をしています。こうした取り組みを、大分市でも導入・検討する考えはないでしょうか、見解を求めます。(質問7)

バス路線の充実についてですが、「敷戸西バス停から軒田までの間にバス停があれば、駅へ行くときや、お医者に行くのに便利になる」など、バス停設置の声が寄せられています。しかしバスベイの設置が必要なことなどもあり、実現をみていません。市が用地を確保して、バス停を設置できるようにする考えはないでしょうか、見解を求めます。(質問8)

最後の質問に移ります。オスプレイの配備・訓練にかかわって質問します。九州市長会に、オスプレイ配備の決議案が沖縄県市長会から出されましたが、合意をみずに、内容を変更して決議がされたとの報道がありました。九州市長会の会長を務める釘宮市長には、重要な役割を果たす位置にあると思います。

オスプレイは開発段階から墜落事故をくりかえし、実戦配備が始まった20

05年以降も、10年にアフガニスタンで、今年に入って4月にアフリカ北部のモロッコで、6月には米国のフロリダで墜落を重ねている危険な欠陥機です。さらに7月には、機体のトラブルで米国南部の民間飛行場に緊急着陸しています。いつどこで落ちるかわからないのがオスプレイです。このオスプレイが、大分の上空も飛行訓練される計画があります。市民生活と安全にとっても重要な問題です。

そこで質問しますが、今回の決議をどのように受けとめているのでしょうか、見解を求めます。(質問9)

オスプレイの低空飛行訓練を中止するように国に要求すべきと考えますが、見解を求めます。(質問10)